

日本協同組合学会主催・日本学術会議経済政策研究連絡委員会後援

シンポジウム「『協同組合の促進』に関する ILO新勧告案をめぐって」のご案内

2001年6月のILO総会において、「協同組合の促進」に関するILO127号勧告が見直され、新勧告案が提出されました。同勧告案は1年間の検討の上、2002年6月のILO総会で採択に付されます。この提案は、国際的国内的に協同組合にとって極めて重要な影響を与えるものと考えられます。

私どもは、このILOの新勧告案について議論を深め、検討することが、よりよい勧告制定に資するものと考え、下記のとおり、ILOジュネーブ本部、ILO東京支局、政・労・使等の関係機関および協同組合学会の参加によるシンポジウムを開催することにしました。多くの方の参加を期待しご案内申し上げます。

記

テーマ 「協同組合の促進」に関するILO新勧告案をめぐって

目的 ILO新勧告案をめぐって、参加機関等・本学会員の報告を踏まえ、同案の背景や内容を検討することを通じ、よりよい勧告制定に資することを目的とする。

主催 日本協同組合学会

後援 日本学術会議経済政策研究連絡委員会

日時 2002年1月26日(土)13:00~17:00

会場 青山学院大学渋谷キャンパス・6号館610号教室

座長 関英昭(青山学院大学法学部教授)

栗本 昭(財・生協総合研究所主任研究員)

開会挨拶: 日本協同組合学会会長 中川雄一郎(明治大学政経学部教授) 13:00~13:05

第1報告: 「新勧告案の背景と意義・問題点」 13:05~13:20

堀越芳昭(山梨学院大学経営情報学部教授)

第2報告: 「協同組合の現代的意義: ILOの視野から」 13:20~13:35

堀内光子(ILO駐日代表)

第3報告: 「新勧告案に対する政府の見解」 13:35~13:50

森實久美子(厚生労働省国際課課長補佐)

第4報告: 「新勧告案に対する使用者側の見解」 13:50~14:05

臼井啓能(日本経営者団体連盟教育研修部課長代理)

第5報告: 「新勧告案に対する労働側の見解」 14:05~14:20

田中光雄(日本労働組合総連合会国際政策局長)

第6報告: 「新勧告案に対する労働者協同組合の見解」 14:20~14:35

菅野正純(日本労働者協同組合連合会理事長)

休憩 14:35~14:45

特別報告: 「新勧告案の趣旨と要点」 14:45~15:15

テレシータ・デ・レオン(ILO・COOPNET/COOPREFORMプログラム

アジア太平洋地域コーディネータ)

特別報告への質疑: 15:15~15:30

コメント: 白石正彦(日本学術会議経済政策研究連絡委員会委員/

東京農業大学国際食料情報学部教授)

休憩 15:40~15:50

質疑応答・討論: 15:50~16:50

座長まとめ: 16:50~17:00

閉会挨拶: 17:00~17:05

*参加費として資料代1000円をお願いいたします。(資料は100頁程の予定です。)

*参加希望者は、下記までご連絡いただければ幸いです。

堀越芳昭 TEL/FAX: 0426-85-3321 E-mail: horikoshi@ygu.ac.jp